



2022.3.14 瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

### 1年を振り返って

令和3年度がもうすぐ終わろうとしています。いつもなら入学・進級にとワクワク感でいっぱい、楽しみで心がおどる毎日だと思いますが、今年はなんだか心が晴れず、お天気に例えるならどんよりとした曇り空。そう感じてみえる方も多いのではないのでしょうか。

一つは新型コロナウイルス感染拡大。もう3年目に入りました。1~2年経てば、元の生活に戻ると誰もが信じていましたが、ウイルスはどんどん進化し、第6波は過去最高の新規感染者数を記録しました。自粛生活と感染予防対策の長期化で、多くの方が心も体も疲れてしまっている状況です。



それでもなんとか前向きに頑張ろうと気持ちを立て直していたところに、ウクライナとロシアの紛争が始まりました。ウクライナの人々を救おうと世界の国が協力し、和平に向けて会談も進みつつありますが、暗いトンネルに入ってしまった、解決策が見いだせない状態です。毎日、ニュースを見るたびに胸が締め付けられます。特に幼い子どもたちや女性の方々が恐怖に震える姿を見て、涙が止まりません。私たちには祈ることしか出来ませんが、1日も早く平和な世界が取り戻されることを心から願っています。

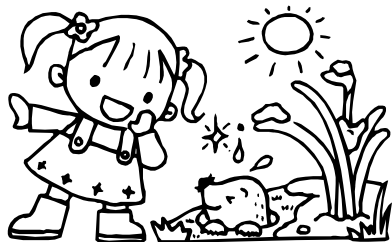
コロナ禍で大変な1年でしたが、幼稚園としても行事をどのように開催できるかを、許される範囲の中で試行錯誤してきました。子どもたちは元気いっぱい、我々の思いを受けて行事ごとに力を発揮し、友達と協力しながら成長する姿をみせてくれました。その陰で支えていただきご協力下さった保護者の皆様はじめ父母の会役員の皆様に改めて感謝申し上げます。

様々なことがあったこの年を、いつの日か笑顔で思い出話として語る日がきっと来ると思います。どんな困難があっても、子どもたちがいつも前向きにがんばっていた姿をお手本に、この瀬戸ひなごから子どもたちの成長をずっと応援していきます。

### 生かされている命

先日、息子の嫁のおじいさまが亡くなられたと連絡があり、通夜式に夕方、夫と出かけました。お家の前に着いた時、丁度ご住職様が到着され車から降りてみえたのですが、そのお顔を見て本当に驚きました。もう20年以上も前になりますが、私は愛知県私立幼稚園連盟の常任理事で渉外部長を務めており、その時にお世話になった名古屋市内の幼稚園の園長先生だったのです。渉外部は県に補助金の要望をしたり、知事や県議会議員との懇談会を企画したりする部で、私が一番若く、部員の園長先生方は年上のベテランばかり。でも皆様、素直で話のわかる性格の良い方ばかりで、楽しくお仕事が出来ました。

そのご住職様もとてもおもしろい方で、お互いにしゃべると漫才のようにボケとツッコミで会話していたのです。その時もお会いした瞬間、「ここであったが100年目」「ボスご無沙汰しておりました。」とにぎやかに始まってしまいました。でも、嫁のおばあさまも話の分かる方で「にぎやかに天国へ送ってあげたいし、おじいさんも喜んでいてと思います。」と一緒に会話に加わっていただきました。



おじいさまは85歳で亡くなられましたが、その命は嫁に受け継がれ、嫁は息子と出会い、我が孫たちにつながれました。人は生まれた日から死に向かって生きる日々がカウントされ、少しずつその日は減っていきます。でも、それを悲観するのではなく、この世に生まれた奇跡、命あること、生かされていることに感謝しながら、大切に1日1日を過ごすことが大切だと改めて思いました。

最後になりましたが、この1年「めばえ」をお読みいただきありがとうございました。自分の反省も込めて書いてきました。お付き合いくださいましたことに心より感謝申し上げます。